

# 鳥獣の 被害対策

# アライグマの生息数低減を目指す！！

～益田市でのアライグマの効率的な捕獲体制の構築を目指して～

## 研究の背景・目的

島根県でのアライグマは平成21年度以降、益田市を中心に捕獲数が増加しています。しかし、捕獲対策では錯誤捕獲が障害となっており、錯誤捕獲を低減できる新たな捕獲わなの開発や捕獲圧を強化するための新たな捕獲技術の確立が必要となっています。アライグマは年間の増加率が50%にも達するほど繁殖力が高いことから、生息数が少ないうちの捕獲が経済的、労力的に効率が高く、その対策は極めて緊急性の高いものとなっています。

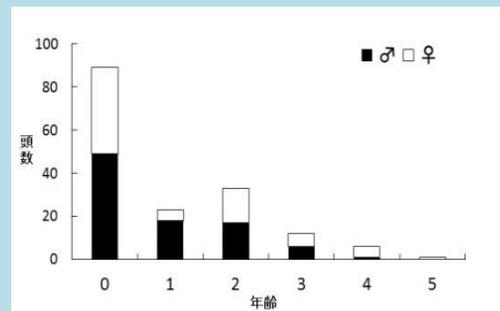


## 研究方法

- ①捕獲されたアライグマの年齢・性別・出産・妊娠率を調査して、県内のアライグマの生息実態を把握します。
- ②アライグマ以外の動物が誤って捕獲される「錯誤捕獲」が多いことから、アライグマを飼育実験して、錯誤捕獲を避けることが可能な新たな捕獲わなを開発します。また、捕獲効率を向上できる誘引餌の検索を行います。
- ③島根県での生息情報を共有できるように、被害や目撃などの生息情報をマップ化（島根県統合型GIS「マップonしまね」）して、配信できるネットワークを構築します。

## 研究状況

- ①H26年度は165頭が捕獲され、その54%を0歳が占めました(図)。また、出産・妊娠率は86%と高く、一頭当たりの出産数は4～8(平均4.7)頭でした。
- ②新型の捕獲わなを試作しました。わなの中を登って扉が閉まる形状になっており、飼育個体を用いた試験では一晩で捕獲できました(図)。今後は、野外での捕獲試験を行う予定です。
- ③目撃・捕獲や被害などの生息情報を地図情報として共有できる「アライグママップ」を公開しました(図)。



捕獲個体の年齢構成



試作わなに捕まった飼育アライグマ



アライグママップに公開した生息情報

## 研究成果の活用・今後の研究計画

益田市でのアライグマの生息数を低減することによって、被害発生リスクを減らすと共に、周辺自治体への分布拡大を抑制することができます。また、アライグマの生息数の低減を図るための技術マニュアルを作成して、他市町でのアライグマ対策の初動対応に役立ちます。

MOUNTAINOUS REGION RESEARCH CENTER  
島根県 中山間地域研究センター

〒690-3405 島根県飯石郡飯南町上来島1207

担当科 : 鳥獣対策科

研究担当者 : 小宮 将大 (こみや まさひろ)

問い合わせ先 : 0854-76-3819

E-mail : chusankan@pref.shimane.lg.jp

試験研究課題名 : 益田市でのアライグマの生息数低減への成功モデルの構築 (研究期間 : H26～28年度)

